

会議名	令和2年度港区市街地再開発事業事後評価委員会（第2回）																																						
開催日時	令和2年10月26日（月曜日）18時00分～19時30分まで																																						
開催場所	港区役所6階会議室																																						
委員	<table border="1"> <thead> <tr> <th>役職</th> <th>氏名</th> <th>出欠状況</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>秋田 典子</td> <td>出席</td> <td>学識経験者</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>有賀 隆</td> <td>出席</td> <td>学識経験者</td> </tr> <tr> <td></td> <td>市古 太郎</td> <td>出席</td> <td>学識経験者</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中井 検裕</td> <td>出席</td> <td>学識経験者</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加生 武秀</td> <td>出席</td> <td>区民</td> </tr> <tr> <td></td> <td>馬渡 克也</td> <td>出席</td> <td>区民</td> </tr> <tr> <td>委員長</td> <td>野澤 靖弘</td> <td>欠席</td> <td>行政</td> </tr> <tr> <td></td> <td>富田 慎二</td> <td>出席</td> <td>行政</td> </tr> </tbody> </table>			役職	氏名	出欠状況	備考		秋田 典子	出席	学識経験者	副委員長	有賀 隆	出席	学識経験者		市古 太郎	出席	学識経験者		中井 検裕	出席	学識経験者		加生 武秀	出席	区民		馬渡 克也	出席	区民	委員長	野澤 靖弘	欠席	行政		富田 慎二	出席	行政
役職	氏名	出欠状況	備考																																				
	秋田 典子	出席	学識経験者																																				
副委員長	有賀 隆	出席	学識経験者																																				
	市古 太郎	出席	学識経験者																																				
	中井 検裕	出席	学識経験者																																				
	加生 武秀	出席	区民																																				
	馬渡 克也	出席	区民																																				
委員長	野澤 靖弘	欠席	行政																																				
	富田 慎二	出席	行政																																				
事務局	街づくり支援部 開発指導課 再開発担当																																						
議事次第	1 開会 2 議事 (1) 各事業の目的に応じて設定する評価項目について (2) 創意工夫・独創性など施行者が提案する評価項目について (3) アンケート調査について 3 閉会																																						
配布資料	資料1：六本木三丁目東地区第一種市街地再開発事業の事後評価 （評価項目の設定及びアンケート調査について） 資料2：創意工夫・独創性など施行者が提案する評価指標（案） 資料3：アンケート調査票（地区内配布用）（案） 資料4：アンケート調査票（地区外配布用）（案）																																						

会議の結果及び主要な議題・発言

	<p>1 開会</p> <p>野澤委員長欠席のため、有賀副委員長が委員長代理として第2回港区市街地再開発事業事後評価委員会の開会を宣言。</p> <p>2 議事</p> <p>○各事業の目的に応じて設定する評価項目について 意見なし</p> <p>○創意工夫・独創性など施行者が提案する評価指標 意見なし</p> <p>○アンケート調査について</p> <p>【委員】 アンケートには一定の質問数が必要であるが、今回のアンケートの質問数はかなり多い。回答項目が多いことで、回収率が低くなる可能性がある。配布方法など、アンケート調査としてのテクニカルな部分について教えてほしい。</p> <p>【事務局】 地区内・地区外の居住者、事業所等に対して、個々に2通ずつポストイングする。回答は同梱する返送用封筒を使って返送できるようにしている。</p> <p>【委員】 地区外のアンケートは、地区内と比べて対象者が多く、かつ質問数が少ないため問題ない。地区内のアンケートは、対象者がどれぐらいいて、どのように配布するのか。個々のポストに直接投函していくのか。管理組合を通じて配布する等の工夫もできると思うが、その点についてどう考えるか。</p> <p>【事務局】 現在、管理組合にアンケート配布に係る協力をお願いしており、今後、お会いして調整する予定である。配布方法については、基本的に個々のポストへの投函を予定している。なお、事業者に対しては、張り紙等によるアンケート周知を考えている。</p> <p>【委員】 地区内のアンケートは質問数が多いため、回収率が低くなる可能性がある。また、この質問数で答えてくださる方は、当事業に好意的である可能性が高いため、回答内容に偏りが出るかもしれない。そのため、マンショ</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>ンのエントランスに回収ボックスを設置するなど、回収率を上げるための工夫が必要であると考える。</p>
【事務局】	<p>回収ボックスについては、昨年度は設置できなかったが、一昨年度は設置している。今回も設置できるよう調整する。</p>
【委員】	<p>アンケートの回答は無償でお願いしているのか。</p>
【事務局】	<p>無償である。</p>
【委員】	<p>無償でこの質問数を答えるのは辛いのではないか。回答者へのプレゼントなど、検討が必要ではないか。</p>
【事務局】	<p>検討する。</p>
【委員】	<p>当マンションは、居住者とオーナーが別になっている住戸が多いと思われる。アンケートの対象者がどちらなのか明確にすべきではないか。</p>
【事務局】	<p>アンケートの案内文に、居住者を対象とする旨が記載されている。当該部分を強調するなどの工夫をする。</p>
【委員】	<p>アンケートの案内文に、調査票を2通同封している旨が記載されているが、これを読まなければ誤って2通同封されていると勘違いされかねない。当該部分を強調した方が良い。また、それにより、多くの方に回答してほしいという意図が伝わりやすくなるを考える。</p>
【事務局】	<p>2通同封している意図が伝わるような表現を検討する。</p>
【委員】	<p>インターネットによる回答は、多くの方が回答できるのか。</p>
【事務局】	<p>インターネットによる回答に、人数制限は設けてはいない。</p>
【委員】	<p>広場1号、広場2号に愛称等があれば、1pの整備した道路及び敷地内のオープンスペースの位置を示している写真の名称に、愛称等を追記してはどうか。</p>
【事務局】	<p>広場1号、広場2号の愛称等は、現時点で把握していない。愛称等の有無について再度確認する。</p>
【委員】	<p>3p、4pの景観の参考写真について、写真の中にキャプションを入れ込むのではなく、キャプションは別枠とし、それぞれの写真で何を表現しているのか示した方が良いと考える。</p>
【事務局】	<p>キャプションは別枠とする。</p>
【委員】	<p>5pの質問3(4)の身近なコミュニティづくりの必要性に関する質問だ</p>

	<p>け「思う」「どちらともいえない」「思わない」という3段階の選択肢になっている。「やや思う」「やや思わない」を追加して5段階の選択肢にした方が良いのではないか。</p>
【事務局】	<p>3段階の選択肢を5段階に変更する。</p>
【委員】	<p>6pの質問6(3)で、地区内で行われたイベントの満足度に関する質問があるが、イベントが何を指しているのか分かりづらいのではないか。</p>
【事務局】	<p>イベントが何を指しているか分かるように、例を追記するなど工夫する。</p>
【委員】	<p>7pの質問9(4)に、参考として竣工年度を和暦で記載しているが、現在改元しているため、西暦を表記した方が親切だと考える。</p>
【事務局】	<p>西暦を追記する。</p>
【委員】	<p>質問3以降に全く写真がない。防災、駐輪場、駅街一体の街づくりに、それぞれ写真が一枚でもあれば答えやすくなるのではないかと考える。検討してほしい。</p>
【事務局】	<p>答えやすいレイアウトを検討する。</p>
【委員】	<p>6pの質問4の防災に係る質問において、倉庫に関する複数の質問は、すべて表記したほうが回答しやすいのではないか。</p>
【事務局】	<p>ご指摘のとおり、質問の並び順を修正する。</p>
【委員】	<p>6pの質問4(3)において、帰宅困難者の一時受け入れ場所に関する質問があるが「一時受け入れ場所」と表記した意図はあるか。条例に基づけば「一時滞在施設」という表記が正しいのではないかと思う。(4)も同様に、「一時避難スペース」と表記されているが、浜松町駅、竹芝駅の安全確保計画では「一時待機場所」と表現されている。</p>
【事務局】	<p>「一時受け入れ場所」は協力協定における表現を引用し、「一時避難スペース」は公開空地の維持管理協定における表現を引用している。</p>
【委員】	<p>6pの質問4の防災に係る質問において、「災害時における駅周辺の安全安心につながる街づくり」を帰宅困難者対策への評価、「道路整備や耐震性の高い建物整備などによる街づくり」を再開発事業が目的とするところの防災性の評価として分類するのであれば、表現については提案したい。</p>
【事務局】	<p>似たような質問になってしまっているので、ご教授いただきたい。</p>

【委員】	6pの質問4の防災に係る質問において、「一時受け入れ場所」は建物内の寝泊まりできるような空間、「一時避難スペース」は建物外の滞留できる空間について聞いているという意図が伝わる表現にしたほうが良い。
【事務局】	表現を検討する。
【委員】	4pの質問2(2)において、「①建物形状」と「②建物形状と周辺との調和」の質問、「③外壁の色彩」と「④外壁色彩の周辺との調和」の質問は、質問数を減らすためにまとめられるのではないかと。また、周辺との調和について、回答者が質問の意図を理解するのは難しいと思うので、写真を加える、又はキャプション等で写真に説明を加えてはどうか。
【事務局】	①と②及び③と④をまとめること、及び回答者に質問の意図を伝えるための工夫について検討する。
【委員】	なだれ坂は「歴史的な地形を生かした風景」であることが伝わるような写真にすべきではないかと。
【事務局】	写真を検討する。
【有賀副委員長】	六本木三丁目東地区第一種市街地再開発事業の事後評価に関する評価項目及び評価指標については、今回事務局から提示された案のとおり設定することとし、アンケート調査票については、各委員から頂いた意見を反映できるところは反映し、アンケート調査票を決定するという事によろしいかと。
【委員一同】	異議なし。 3 閉会 有賀副委員長より、第2回市街地再開発事業事後評価委員会の閉会を宣言。